

# 「営農情報メール」配信中! 登録無料!!

作柄情報 病虫害対策 青果物概況 イベント案内 など

◆ご登録は、右記のQRコードまたはJA山武都市のホームページから!  
(スマートフォンもしくはパソコンのメールアドレスをご登録ください。)

◎JA山武都市の組合員なら、どなたでも登録できます!!



## 抑制トマト

グリーンプラザ第一集出荷センター  
営農指導員 川島 俊一



### ■ 今年の振り返り

昨年は、定植期〜収穫前まで記録的な高温、乾燥状態が続き、高温対策や灌水が不足していた圃場において、根張りが悪く、低段の着果不良、品質低下、尻腐れ果、変形果が多く見られました。また、青枯病の多発した圃場や、黄化葉巻病の多発した圃場が多くあり、管理作業に非常に苦労する年となりました。

### ■ 高温対策

トマトは比較的、高温に弱い作物です。地温32℃、気温35℃以下に抑えないと障害が発生します。昨年は、遮光塗料だけでは温度を抑えることができない圃場もありました。遮光ネットやタイベック(遮熱マルチ)を複合的に用い、ハウス内の温度を抑えるようにしましょう。タイベックは、株元に敷くことで、地温抑制効果があります(写真⑤)。また、生育初期に灌水を控える方もいますが、地温を下げたり、根張りを良くしたりするため、朝、夕の2回少量でも灌水するよう心がけてください。

### ■ 高温対策資材

【遮光塗料】  
レディール、ファインシールドなど

## 令和1年産米スタート

今年には種まき以降も霜が降りるなど、寒暖差の大きい日が続いたため、発芽揃いや育苗期間中の管理に苦労される方が多かったようです。

## 近年増加傾向の難防除雑草

水田の難防除雑草として、オモダカやホタルイ、コウキヤガラなどが挙げられます。近年は匍匐性の雑草や、新たな帰化植物も問題となっており、今回は問い合わせの増えている雑草を2種類紹介します。

### ● イボクサ(ツルクサ科) (写真①)

主に水田畦畔から侵入し、その後代かきで切断された茎からも発芽するため、防除が難しい雑草です。茎はやや多肉質で、地面をはって「ツル」のように広がります(写真②)。多発するとその重みで稲を倒伏させたり、収穫時に機械を詰まらせたりするなどの被害をもたらします。

### ● イボクサ対策

①耕起前に生育旺盛な場合は、非選択性の茎葉処理除草剤を散布してください。  
②土中に埋没した切断茎は再生しないため、代かきを丁寧に行ってください。

### ③切断茎の再生前か生育初期であれば、効果的な成分を含む一発除草剤を使用してください。その後再生が見られるようでしたら、早めに中後期剤を散布しましょう。

### ● ヒレタゴボウ(アカバナ科)

熱帯アメリカ原産の帰化植物で、近年管内の水田でも発生が増えています(写真③)。中干し後の7〜8月にかけて急速に成長し、草丈は1m以上に達します。黄色い花(写真④左下)が特徴で、秋には大量の種子を落とします。在来種のチョウジタデ(別名:タゴボウ)に比べ草丈が高く、なることや、葉と茎の境が翼状に張り出しているのが特徴です。

### ● ヒレタゴボウ対策

発生時期が遅いことから、植え付け直後の除草剤だけでは発生を抑えることが難しく、中干し直後に中後期剤を使用する必要があります。中干し期間中に幼植物(写真④左上)が多く見られた場合は、防除を検討してください。

ヒレタゴボウは一年生雑草なので、種を落とす前に除草することで翌年の発生を抑えることができます。刈り取りが遅い圃場や、畦畔に発生した場合は早めに除草しておきましょう。

### 【遮光資材】

タイベックマルチ、遮光ネット(クールホワイト)、ダイオカールロールなど

### 【その他】

循環扇、噴霧資材

### ■ 黄化葉巻病対策

黄化葉巻病は、タバココナジラミが媒介する病気です(写真⑥)。育苗期〜定植初期に効果の高い薬剤を散布して、しっかりと防除を行ってください(表①参照)。また、黄化葉巻病の抵抗性品種を用いる場合は、症状は出なくても感染はします。黄化葉巻病ウイルスを保有するコナジラミが外に逃げると、近隣のトマトへ被害が拡大してしまいますので、発生源とならないよう予防・防除を心掛けましょう。

表① トマトのコナジラミに登録のある薬剤

| 薬剤名           | 希釈倍率・使用量    | 使用時期       | 使用回数 |
|---------------|-------------|------------|------|
| トランスフォームフロアブル | 1000〜2000倍  | 収穫前日まで     | 2回以内 |
| ファインセーブフロアブル  | 1000倍       | 収穫前日まで     | 3回以内 |
| ベリマークSC       | 25〜50ml/株灌注 | 育苗期後半〜定植当日 | 1回以内 |

## 3月の分析経過について

合計9点

| 残留農薬分析点数 | 多成分一斉分析 | 合計9点 |     |    |
|----------|---------|------|-----|----|
|          |         | 春ネギ  | 春ナス | ニラ |
|          |         | 7点   | 1点  | 1点 |

※残留農薬分析において、基準値を上回る成分は検出されませんでした。

土壌診断点数 …… 合計49点



写真⑥ 黄化葉巻病に感染したトマト (葉が黄色くなり、表側または裏側に巻く)



写真⑤ 抑制トマト圃場でのタイベックの設置



写真④ ヒレタゴボウ (成植物[右]、幼植物[左上]、花[左下])



写真③ 本田に多発したヒレタゴボウ



写真① イボクサ(生育初期)



写真② イボクサ(成植物)